



收受印

整理番号

# 徴収猶予申請書(記入例)

# 特

沼田市長 殿

地方税法附則第59条第1項の規定により、以下のとおり徴収の猶予を申請します。

1 申請者名等 (以下の項目について、ご記入をお願いします。)						
申請者	住所所在地	沼田市〇〇〇町〇〇〇番地 電話番号 0278 (〇〇)〇〇〇〇 携帯電話 〇〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇			申請年月日	令和 2 年 〇 月 〇 日
	氏名	〇 〇 〇 〇 (印)			※職員記入欄 通信日付印	
納付又は納入すべき税	年度	税目	納期限	税額	本税以外(延滞金等)	納付書番号等
	R2	固定資産税	R2・6・1	110,000 円		〇〇〇〇〇
	R2	固定資産税	R2・7・31	110,000 円		〇〇〇〇〇
	R2	固定資産税	R2・9・30	110,000 円		〇〇〇〇〇
	R2	固定資産税	R2・12・25	100,000 円		〇〇〇〇〇
合計			① 430,000	②		
新型コロナウイルス感染症等の影響				<input type="checkbox"/> イベント等の自粛で収入が減少 <input checked="" type="checkbox"/> 外出自粛要請で収入が減少 <input type="checkbox"/> その他の理由で収入が減少		

## 2 猶予額の計算(書き方が分からない場合は、職員が聞き取りをしながら記載します。)

(注)会計ソフト等で作成した試算表などで代用いただいても構いません。

### (1) 収入の減少の状況等

令和2年2月以降、前年同月と比べて収入の減少率が大きい月の収支状況を記載してください。

項目	令和2年(当年)			前年同月			収入減少率
	4月	5月	6月	4月	5月	6月	
収入	売上	600,000	300,000	300,000	1,000,000	1,200,000	900,000
	その他(アルバイト)		150,000	150,000			
小計	600,000	450,000	450,000	1,000,000	1,200,000	900,000	63 %
支出	仕入	150,000	120,000	120,000	250,000	250,000	
	家賃	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	光熱水費	80,000	80,000	80,000	110,000	110,000	100,000
	人件費	100,000	50,000	50,000	200,000	200,000	180,000
	借入金返済	40,000	20,000	20,000	40,000	90,000	40,000
小計	470,000	370,000	370,000	700,000	750,000	600,000	403,333 円

(注) 売上などを「収入」に、仕入、販売管理費/一般管理費、借入金返済などを「支出」に記入ください。なお、減価償却費など、実際に支払を伴わない費用などは「支出」に該当しません。また、申請者が法人の場合は、生活費は「支出」に該当しません。

※職員記入欄  事業収入の減少等の事実があることを証する書類(売上帳、給与明細、預金通帳等)  聴取

税理士 署名押印	印	電話番号	
		<input type="checkbox"/>	税理士法第30条の書面提出有

(2) 当面の運転資金等の状況等

当面の運転資金等 (⑫×6(6か月分))	2,420,000 円	+	今後6か月間に予定されて いる臨時支出等の額	100,000 円		
				=	当面の支出 見込額(⑬)	2,520,000 円

(3) 現金・預貯金残高

※職員記入欄 □一時納付・納入が困難であることを証する書類(預金通帳、現金出納帳等) □聴取

	金額		金額		金額
現金	300,000 円	預貯金	500,000 円	現金・預貯金の 合計(⑭)	800,000 円

(4) 納付可能金額

⑭(現金・預貯金残高)	-	⑬(当面の支出見込額)	=	納付可能金額(⑮)	0 円
					(マイナスの場合は0)

(5) 猶予を受けようとする金額

(①+②)納付・納入すべき税	-	(⑮)納付可能金額	=	猶予額
430,000 円		0 円		430,000 円

3 その他の猶予申請(他の猶予の申請を併せて希望する場合)

- この申請が許可されなかった場合(※)は、他の猶予制度(換価の猶予)の適用を希望します。  
※ 例えば、収入の減少率が低いときはこの申請は許可されませんが、他の猶予制度(換価の猶予)により猶予を受けられる場合がありますので、職員から他の猶予制度についてご案内します。

《「収入の減少」とは…》

令和2年2月以降の任意の期間(1か月以上)において、事業をされている方の収入が前年同期間に比べておおむね20%以上減少した場合、「収入の減少」があるものとして猶予の対象となります。

フリーランスの方などの報酬、派遣労働者の方などの給与についても、同じように減少していれば、「収入の減少」があるものとして猶予の対象となります。

なお、新型コロナウイルスの発生とは関係なく減少した収入(臨時収入の減少など)については、この「収入の減少」の計算には含まれません。

《「納付可能金額」とは…》

当面(向こう6か月分)の事業資金・生活費等を超える現金・預貯金をお持ちの場合、その超えた金額については、「納付可能金額」として納期限までに納付していただく必要があります。

・ 申請頂いた内容の審査に当たり、職員が電話等で内容確認を行うことがあるため、ご協力をお願いします。

- ・ 本件の猶予申請の許可又は不許可の結果については、通知書でお知らせします。
- ・ 今後(2か月程度)に、国税や社会保険料などの納税の猶予申請をされる場合には、この申請書の写しを利用できますので、写しを手元に保管しておくことをおすすめします。

沼田市



# 財産収支状況書(別添2共通記入例)

特

令和 2 年 〇 月 〇 日

## 1 申請者名等

住所所在地	沼田市〇〇〇町〇〇〇番地	氏名	〇 〇 〇 〇
-------	--------------	----	---------

## 2 現金・預貯金残高

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額
手持ち現金	現金	300,000 円			
預貯金	普通	500,000 円			
現金・預貯金等合計					800,000 円

## 3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

法人等	見込金額	個人	見込金額
収入	売上	300,000 円	給与・報酬(手取)
	その他(アルバイト)	150,000 円	年金・事業所得(1か月相当)
	収入合計	450,000 円	収入合計
支出	仕入	120,000 円	住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)
	従業員給与	50,000 円	食費
	役員報酬	0 円	被服費
	家賃等	100,000 円	水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)
	諸経費	80,000 円	こづかい・交際費等
	借入返済	40,000 円	保険掛金
			その他ローン(事業用を除く)
		医療費・教育費・養育費	
		家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	
支出合計	390,000 円	支出合計	
		生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)	人

## 4 直近1年間の状況

月	①総収入	②総支出	③差額(①-②)	備考
5月	1,200,000 円	750,000 円	450,000 円	
6月	900,000 円	600,000 円	300,000 円	
7月	1,200,000 円	750,000 円	450,000 円	
8月	1,200,000 円	750,000 円		
9月	900,000 円	750,000 円	150,000 円	
10月	900,000 円	750,000 円	150,000 円	
11月	900,000 円	750,000 円	150,000 円	
12月	1,000,000 円	750,000 円	250,000 円	
1月	800,000 円	550,000 円	250,000 円	
2月	800,000 円	550,000 円	250,000 円	
3月	850,000 円	550,000 円	300,000 円	
4月	1,000,000 円	700,000 円	300,000 円	

【備考】	
------	--

## 5 財産等の状況

### (1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
無し	円	・		
	円	・		
	円	・		

### (2) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇銀行	5,000,000 円	40,000 円	〇年〇月	可・否	収入の多い月は増額返済
	円	円	年月	可・否	

### (3) その他の財産の状況

不動産等	無し	国債・株式等	無し
車両	無し	その他(保険等)	無し